

## 人権に関する作文(若槻小学校)とポスター(北部中学校)発表

コミわかでは人権教育・啓発活動として毎年住民集会を開催し、小中学校のみなさんに人権に関する作文を発表していただいておりますが、本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため住民集会の規模を縮小しました。

作文(原文のまま)とポスターは広報紙による発表とさせていただきます。この機会にぜひ人権について考えてみませんか？ (人権教育部会)

### いじめはあつてはならないこと

若槻小学校 六年一組 岡澤 優希愛

私は、いじめはあつてはならないことだと思えます。

弁護士さんから「いじめ」について話を聞きました。その中で、いじめが原因で自殺してしまった中学生の話が聞きました。いじめめるほうは、軽い気持ちでも、相手はすぐく傷つくということが分かりました。いじめさえなければあつたはずの命が、いじめのせいで失われてしまったのです。それほど、いじめが危険だと分かりました。けれど、あつてはならないはずのいじめがどんどん増えてきていて、そのいじめのせいで自殺してしまふ人も少なくないそうです。自分は何もしていないのにいじめを受けて、追いつめられ死にいたるなど、その人だって、苦しいと思うし、残された家族は、とても悲しむと思います。そんな事はあつてはならないと思います。しかも、先ほどの中学生は、本当は死にたくなかつたそうです。でも、クラスメイトのほとんどにいじめられ、守ってくれる人がいなくなり、最終的にどうしようもなくなり死ぬという選たくをしてみました。死にたくないのに、苦しすぎて、死ぬしかなくなるなんて、その人自身つらかつたと思います。なので、いじめにはいけなかつたと思います。弁護士さんは、人権についても、話してくださいました。人権には、「安心」「自信」「自由」があるそうです。いじめをうけていけば、明日もいじめられるかもしれないと思ひ安心できないし、自信もなくなりまふ。もし、何かの行動でいじめられているなら、あれをやれないと思ひ自由に行動できなくなりまふ。いじめは、人権をしん書してゐる事にもなるのです。

これらの事から私は、いじめは減らさない

といけなかつた、あつてはならないことだと思ひました。

### 人に届ける言葉のマナー

若槻小学校 六年一組 武田 帆乃華

私たちが生活している中で、一番使っているのは言葉だと思ひます。その「言葉」は、相手を喜ばせたり、自分の思ひを伝える事が出来る素敵なアイテムです。ですがその当たり前のように使っている「言葉」は相手を傷付けて、時には凶器となつて相手の心をなつめつめて、その心が元に戻らないようになつてしまふものでもあります。

今日、弁護士の方から聞いたお話です。何十年前前に、学校で男の子がいじめられていました。暴力をふるわれたり、物を隠されていました。そんないじめを行つていたのは、クラスの全体でした。そのいじめにたえきれなかつた男の子は、遠くに行き、遺書を書いて自ら命を絶つてしまつた、という実際のお話でした。亡くなつてしまつた男の子は遺書に「いじめはやめてください」と、自分の気持ちを書いたそうです。その事を聞いたクラスの人とはとても後悔していたようです。

私は、この話から思つた事は一つあります。言葉は、どんな時でも伝える事が出来る、相手を傷つけない、笑顔にさせる事が出来ます。なので、私は周りの人たちに悲しませないように、自分から良い言葉を使つて悲しんでいる人の口角を一人でも上げたいと思ひました。そして、自分の言葉の使ひ方や、責任など、相手に届ける言葉のマナーが分かつた時が、初めて自分や周りにいる人の人権の大切さが分かつたり、人権を尊重できた時だと思ひます。そんな事を、自分から理解して、楽しい毎日が続きますように。

